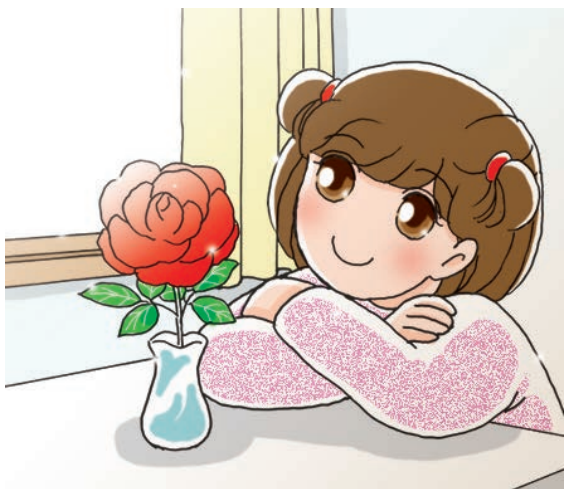




日持ち保証期間長くする方法は

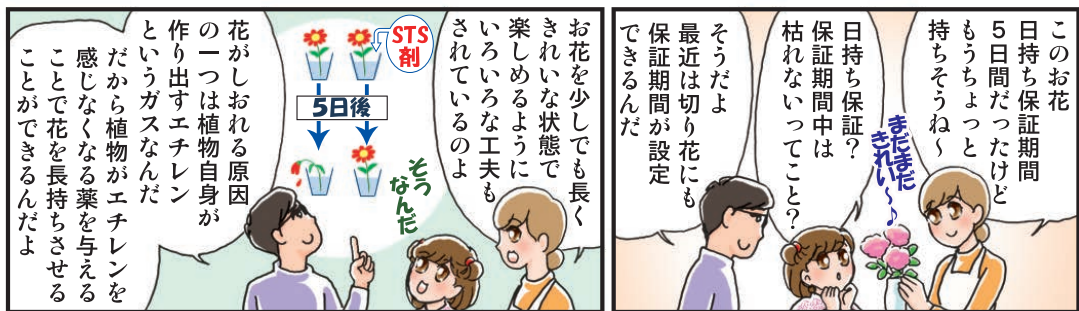


食品には、おいしく食べることができる期限（賞味期限）があるや、過ぎたら食べないほうがよい期限（消費期限）があることは、みなさんよくご存じですね。切り花も時間がたつとおいれてしまったため、きれいに観賞できる期間として日

持ち保証期間を設定すること
があります。この日持ち保証
期間を長くするための方法を
紹介します。

◆エチレンとその対策

花がしおれるとき、植物自
身がつくるエチレンというガ
スが大きく関与します。エチ
レンは果実の成長にも関わる
大事なガスですが、切り花を
日持ちさせるためには、その
働きをおさえる必要があります。



STS剤という薬を水に混ぜて吸わせると、植物は、エチレンを感じなくなるため、日持ちがよくなります。この薬は、これまでに、カーネーション、ラン、トルコギキョウなどの花に利用されてきました。

カーネーションでは、エチレンをほとんど作らない性質を持つ「ミラクルルージュ」と「ミラクルシンフォニー」という品種があります。通常のカーネーションは、6日程

度でおれてしまいますが、この二つの品種は、20日間もきれいな姿を保ちます。

◆フラワーフード

花は、栄養不足や雑菌によってもしおれることがあります。ところが、栄養分を補って雑菌をおさえる薬剤を水に混ぜて吸わせると、日持ちを2日から5日程度延ばすことができます。このような

薬剤はフラワーフードと呼ばれています。

これらのさまざまな方法を組み合わせることで切り花の日持ち保証期間を長くできるようになります。

